

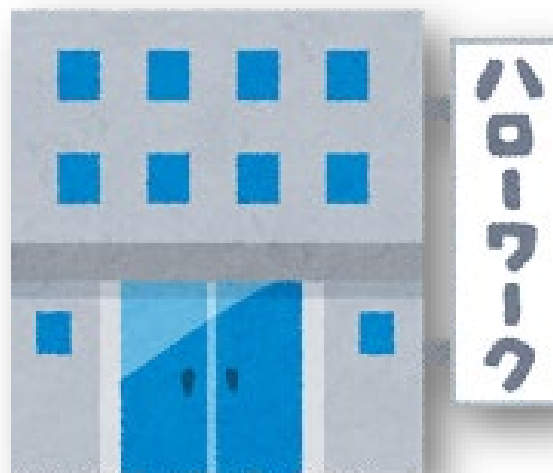
ハローワーク飯田橋の取組事例 ～病院との連携支援の紹介を含めて～

ハローワーク飯田橋
就職支援ナビゲーター 岡田 晃

イントロダクション



なぜ、HWががん患者等（長期療養者） の就職支援をしているのか？



**治療をしながら、仕事をしているひとが
全国に32.5万人！（治療と仕事の両立）**

1.ハローワークによる 長期療養者就職支援 開始から現在まで ～国の取組として～

支援の開始・経過

長期にわたる治療等が必要な疾患を持つ
求職者に対する就職支援モデル事業（H25開始）



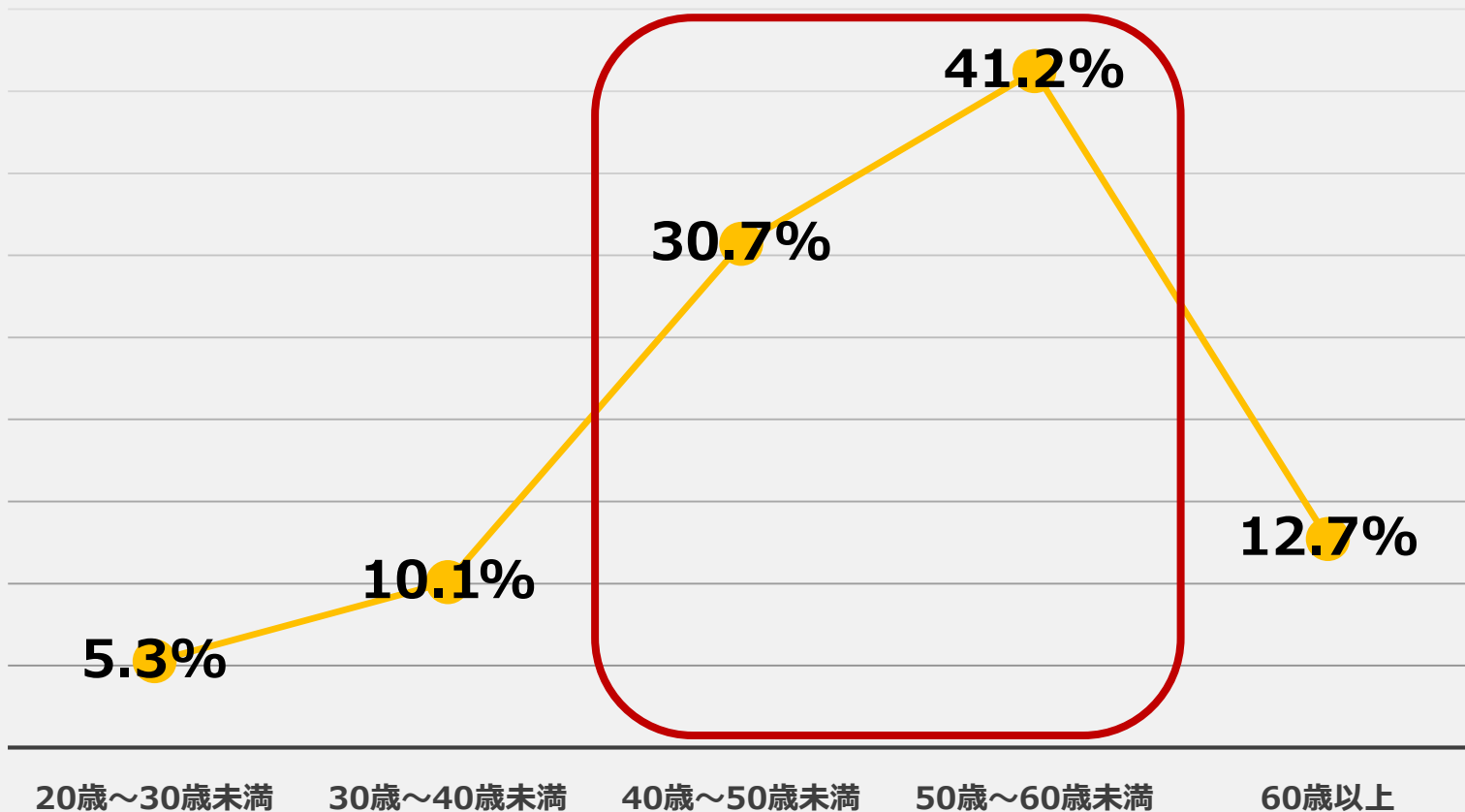
長期にわたる治療等が必要な疾患を持つ
求職者に対する就職支援事業

H28（全国展開）⇒ **現在**
全国**47**都道府県**158**の病院と連携
（H31.3.31現在）

**2.どのような方が、
治療と仕事の両立で
課題を抱えているか？
～相談に来る方の状況～**

相談者の年代は？

相談に来るがん患者さんの年齢別構成比



どのような**状況**の方か？

- 来所者は、30歳代～50歳代の働き盛りの世代が約80%
- Stage 0～Ⅳ、がん種は様々
- 治療前、治療中、治療後（経過観察中等）
- 外来治療中、入院中（於がん研究センター中央病院・都立駒込病院）
- 在職中、離職中（休職中・求職中）
- 正社員（フルタイム）希望、パート希望、どちらも

※ 上記はハローワーク飯田橋で対応しているケースです

がん患者さんが転職 (退職) を考えた理由

- 会社には迷惑をかけると思うから。
- これまでのようなハード働き方はできないと思うから。
- 体調面を考えて、週3日程度から働きたいと思ったから。（労働環境を変更）
- 病気を機会に仕事人生を見直そうと思ったから。
- 退職勧奨を受けたから。

よくある相談例

- 応募の際、病気のことは伝えないといけないんですよね？
- 病気のことを理解してもらった上で働きたいのですが。
- 体調がまだ整いきらないので、週3日程度から仕事を始めたいのですが、そういう仕事はありますか？
- これまでのようには働きません。もう少し体の負担の少ない仕事はありませんか？
- 平日に通院がありますが、できる仕事はありますか？
- がん患者専用の求人がありますか？

などなど

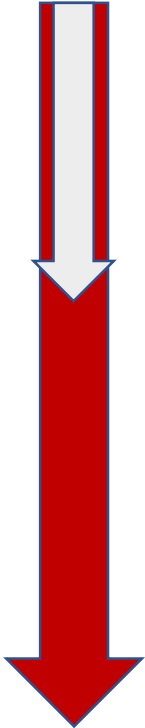
3. 「長期療養者就職支援」 の取り組みと特徴

**～一般の相談窓口と「がん患者さん専門
の相談窓口」の違い～**

支援の特徴

「長期療養者窓口」の場合

1. 求人検索（自己検索）
2. 職業紹介（あっせん）
3. 履歴書・職務経歴書の添削
4. 就職活動関連の講座
5. 職業訓練の相談・申込み
- 6. 専門相談員（就職支援ナビゲーター）が対応**
- 7. 予約制の相談（50分程度/回）**
- 8. 病院への出張相談（がんセンター・駒込病院）**
- 9. 求人情報の提供（職員が選定、郵送も）**
- 10. 「難病・がん奨励金」（東京都限定）**

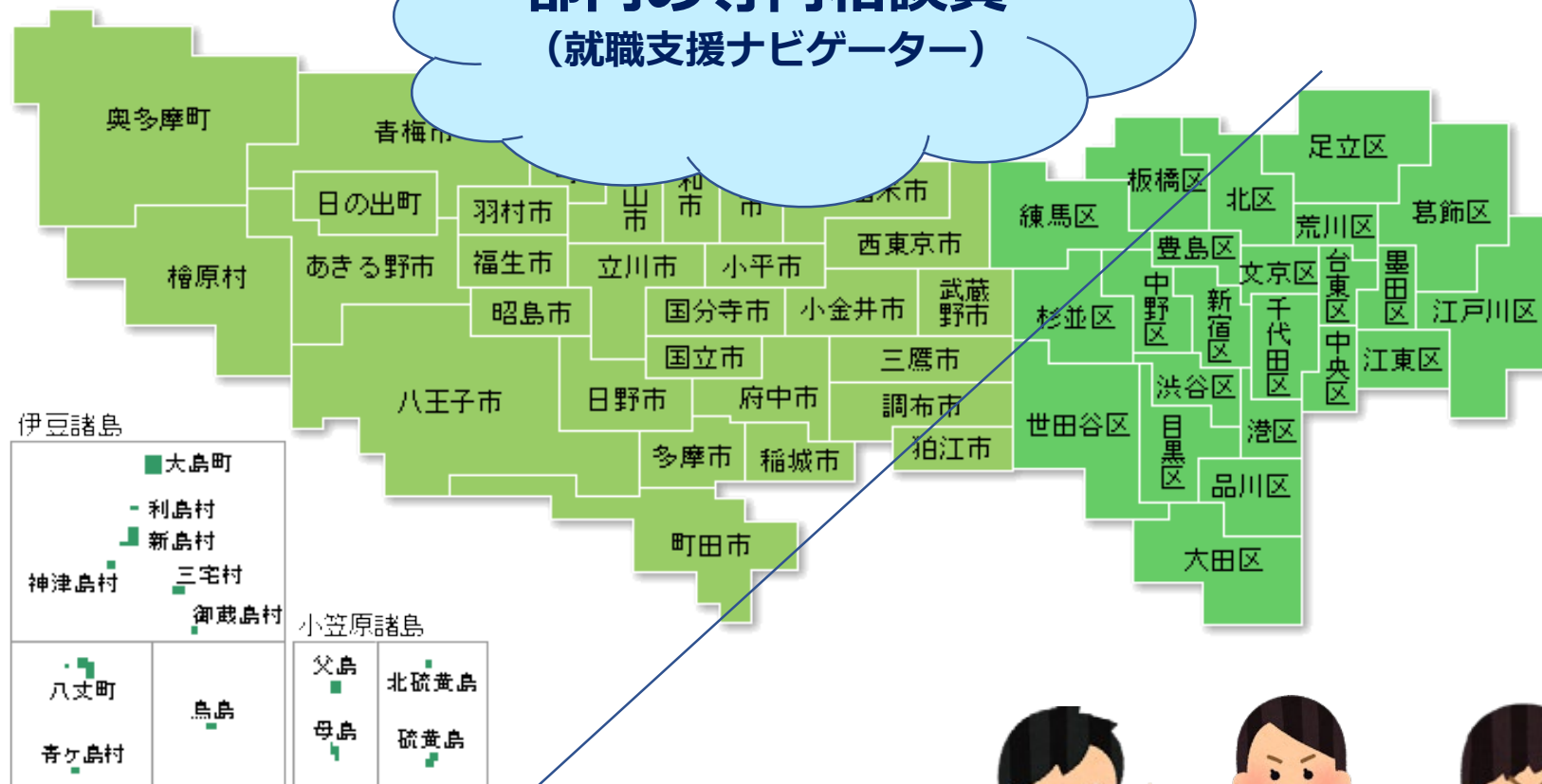


・一般的な支援
・その他個別支援（1～5）

「長期療養者
就職支援窓
口」で支援
（1～11）

現在

都内の専門相談員 (就職支援ナビゲーター)



がん相談の担当は、
都内で3人！
(@HW飯田橋)



岡田 晃



袴田芳香



加藤園子

都内の就職支援ナビゲーター

近年、多くの病院から
患者さんの紹介があります！

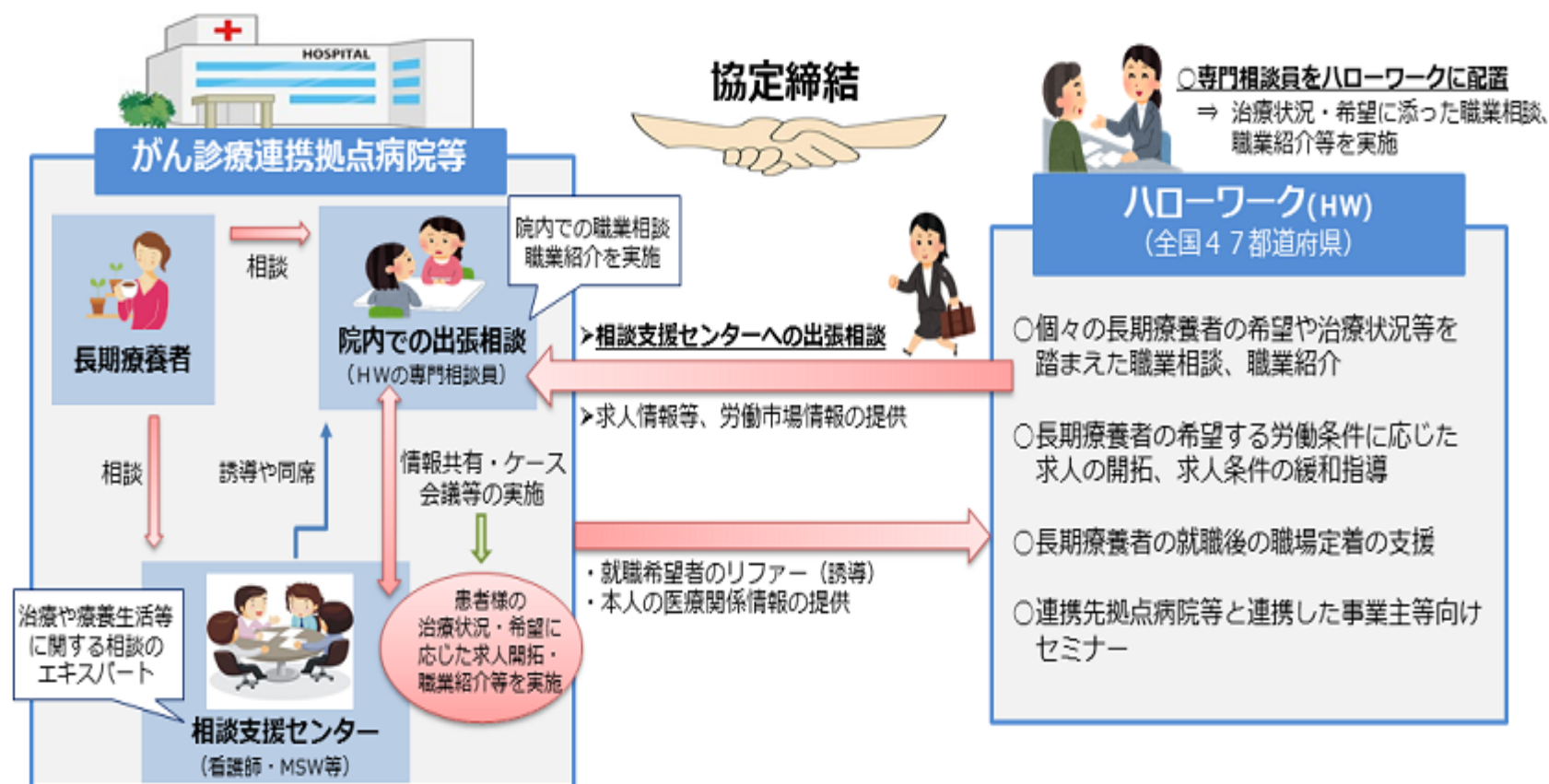


支援の輪が広がっています！



4.医療機関（病院） との連携支援

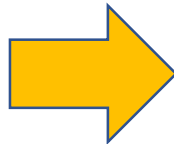
がん診療連携拠点病院と ハローワークの連携



病院に出向いての相談



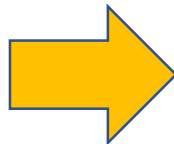
毎週火曜日：終日
+月2回



国立がん研究センター中央病院



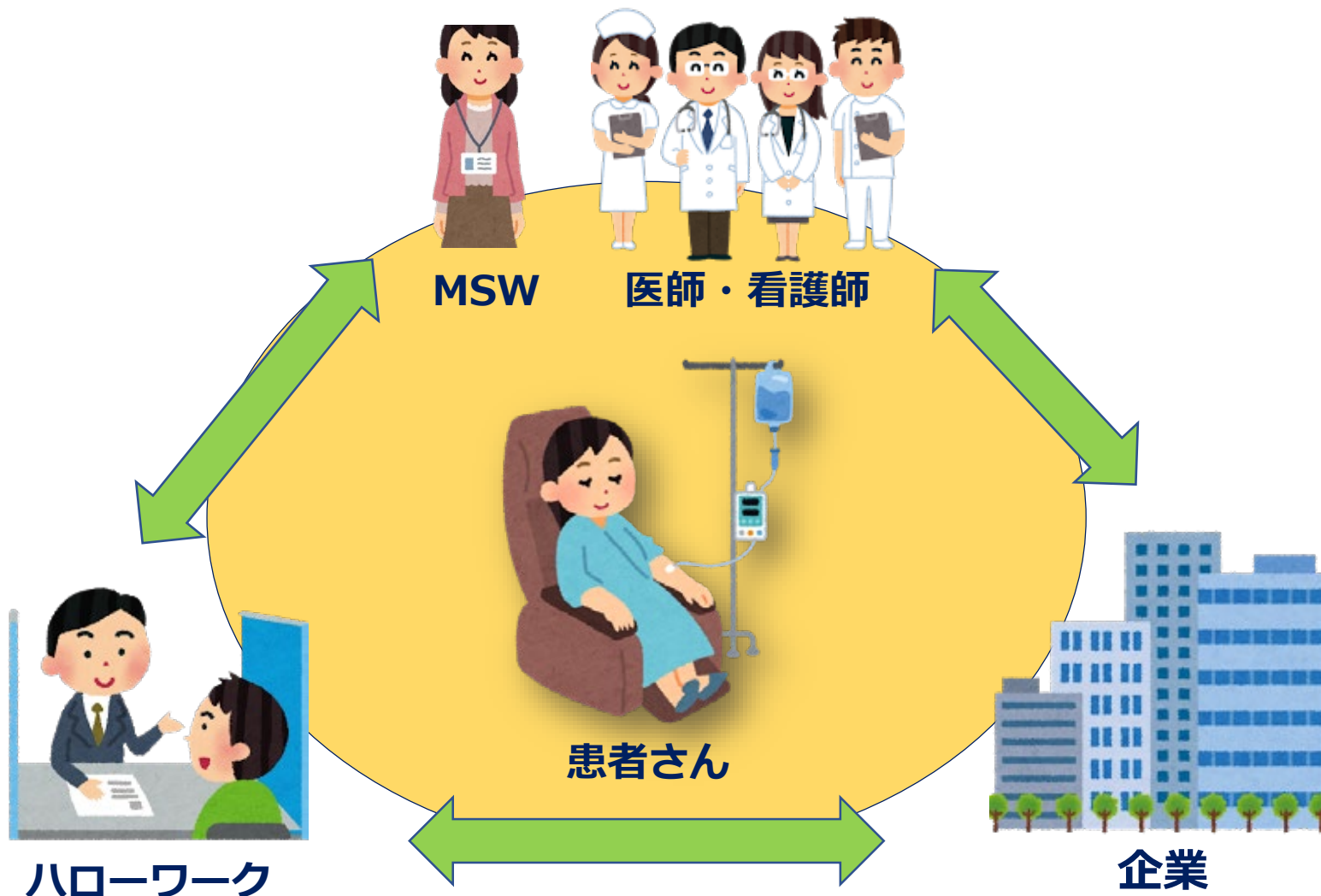
毎週木曜日：午前中



がん・感染症医療のリーディングホスピタル

都立駒込病院

「両立支援」を支えるメンバー



～HWと病院が連携すると
こんないいね👍がある～



★患者さんにとっての いいね👍

- 病気のことを理解したHWの担当者が対応してくれる。
- HW担当者が決まっている。
- 病院内でも、職業相談・職業紹介を受けられる。
- 求人情報を提供してもらえ



★ハローワークにとって のいいね👍

- 患者さんの個別の病状・薬の副作用・治療の後遺症など、医療情報や知識を得ることができる。⇒HW職員にとっても安心。
- 医療面にも心配りのある就労支援が可能。



★医療者（病院）にとっての いいね👍

患者を直接HWに繋ぐことができるようになった結果

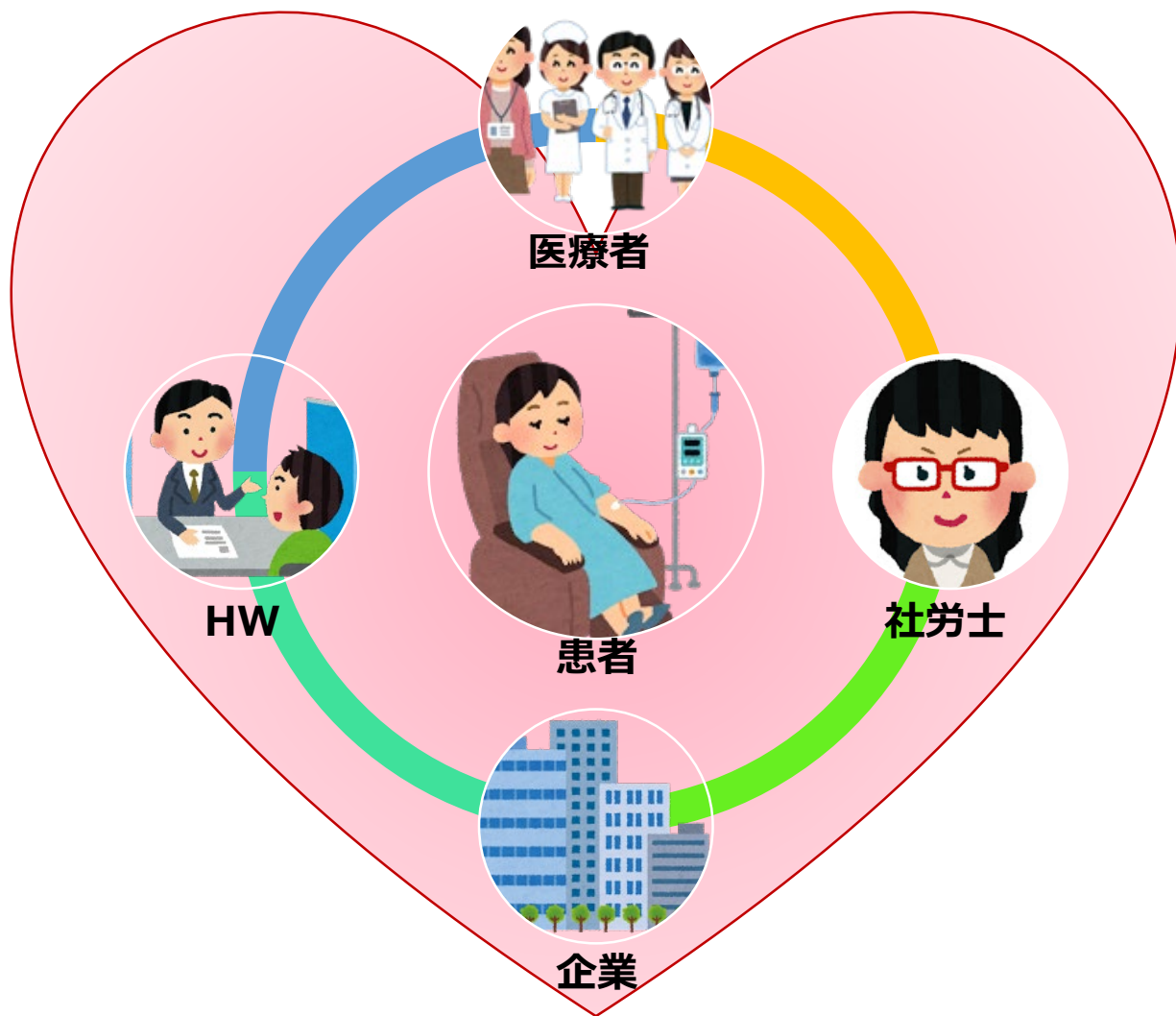
- 患者の直截的なニーズである、具体的な職業相談や職業あっせんの橋渡しが（病院内・HWで）可能となった。
- HWと連携することで、最新の労働事情や「就活における一般的課題」などの情報を得ることができるようになった。

★企業（事業所）にとって のいいね👍

- ナビが事前に患者の状況を把握している。
- 採用した場合、求職者（がん患者）の配慮点がわかる。
- 「難がん金」が利用できる。



みんながいいね👍



5.補足資料

事業所へのお願いしている、 配慮事項等の例

患者さんに対しての理解	●病名で判断はしない ●外見で判断しない（杖をついている・ウィッグの着用・マスクの着用等） ●体力：長時間の立ち仕事 ●重いものを持たない（後遺症） ●分食・トイレが頻回（後遺症） ●手足のしびれ（副作用） ●病気の「開示」「非開示」
企業の実態の弾力性	●勤務の弾力性（時短勤務・状況配慮） ●休暇制度の見直し（全休・半休・時間休・傷病休暇制度の導入） ●一時休憩場所の確保 ●「がん＝仕事ができない」と捉えない
制度の活用	●「難がん金」 ●環境整備助成 ●制度活用助成

参考資料・参考文献

1. 「がん患者等の採用と定着のススメ」

https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/cyoki_320.pdf

2. 「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11200000-Roudoukijunkyoku/0000204436.pdf>

3. 「仕事とがん治療の両立お役立ちノート」

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000204876.pdf>

4. 『緩和ケア お金と仕事リアルな支援』

青海社 2019年1月号



1.～3. は厚労省
のHPからダウン
ロードできます

ご清聴

ありがとうございました